

わせた可視化の手法、課題抽出のためのフレームワーク思考、報告用資料作成のポイントなどを実践例に基づいて紹介いただきます。

16:00 講演「情報セキュリティ防御対策強化への対応」

講師：浜正樹氏（本協会大学情報セキュリティ研究講習会運営委員長、  
文京学院大学情報教育研究センター長）

サイバー攻撃による大学の情報資産・金融資産の窃取・漏洩などから、大学を防御するための取り組みが脆弱と国・社会から指摘されています。本協会では加盟校に情報セキュリティに対する防御の取り組みについてベンチマークを行い、課題の洗い出しを通じて組織的な対応策の強化を呼び掛けており、法人として対応すべき防御行動について紹介します。

16:30 関連情報の提供

「平成 29 年度教育への情報化投資の実態」と「情報関係補助金の要望」  
「ICT を駆使した分野横断型授業モデルの試行」と「学修成果の質保証に向けた外部評価モデル」など

17:00 閉 会

## (2) 実施結果

71 大学、1 短期大学から 111 名が参加した。参加者 3 割からのアンケート結果を報告する。

- ① 来年度に向けてのテーマとしては、IR 関連、学修成果可視化、質保証関連、セキュリティ関連、クラウド関連、補助金、予算関連、教学・業務システム、効率化・働き方改革、情報倫理、リテラシー、ICT を活用した教育の希望があった。
- ② 本協会への要望は、研修活動を充実させてほしい、次年度以降も継続してほしい、情報関連補助金の要望強化、会議の地方開催、遠方からの参加を考えた金曜日の開催などの意見があった。

## 〔他 3〕研究会等のビデオ・オンデマンド配信

大学教員のファカルティ・ディベロップメント、職員のスタッフ・ディベロップメントの貴重な資料として、教育方法及び教材開発、教育・学修支援の情報通信技術活用などの講演、事例紹介の著作権処理済みコンテンツをデジタルアーカイブしてデータベース化し、希望する会員に有料でオンデマンド配信している。

コンテンツは、28 年度 127 件、29 年度 129 件、30 年度 122 件の合計 378 件となっている。

平成 30 年度分の配信分配金は、正会員の規模に応じて 32,400 円から 54,000 円、賛助会員は一律 43,200 円となっているが、2 年目以降は 10 分の 1（29 年度分）、3 年目のコンテンツ（28 年度分）はすべて無料としている。利用人数は無制限で参加申し込みは Web サイトで行っている。